2027年6月期
第1四半期 決算説明資料

株式会社W TOKYO（証券コード：9159）

2026年11月13日

Contents

1 2027年6月期第1四半期 業績概要

2 ビジネスハイライト

3 2027年6月期 業績予想と進捗

4 株主価値向上に向けた取り組み



業績ハイライト（前年同期比・業績予想進捗率）

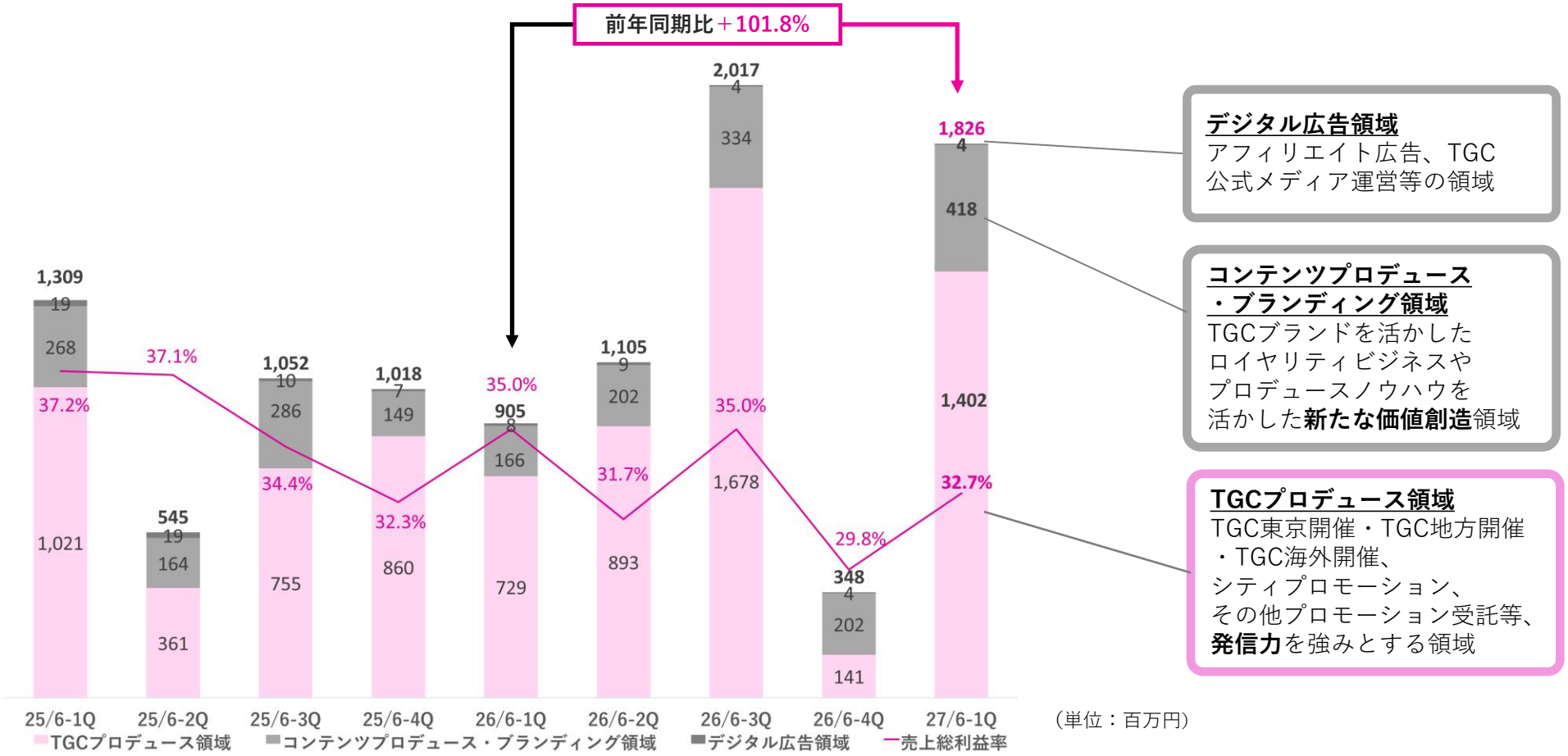
- 前年同期にはTGC地方開催がなかったものの、当期は2件開催されたこと等により、売上高及び売上総利益以下各段階利益は前年同期比で大幅に増加
- 当期はTGC地方開催が上期に集中して予定されており、今のところほぼ計画通りに進行しているため、通期業績予想に変更はなし

（単位：百万円）	2026/6期 1Q (2025/7-2025/9)	2027/6期 1Q (2026/7-2026/9)	前年同期比		2027/6期 通期業績予想	進捗率
売上高	**905**	**1,826**	920	101.8%	**4,009**	45.5%
売上総利益	**317**	**596**	279	88.0%	—	—
売上総利益率	35.0%	32.7%				
営業利益	**62**	**317**	255	411.4%	**410**	77.3%
営業利益率	6.9%	17.4%			10.2%	
四半期(当期)純利益	**39**	**208**	169	429.3%	**268**	77.7%
四半期(当期)純利益率	4.4%	11.4%			6.7%	
（参考）						
調整後営業利益*	**102**	**351**	249	242.3%	**573**	61.4%
調整後営業利益率	11.4%	19.3%				
調整後四半期純利益*	**73**	**236**	163	222.5%	**343**	69.0%
調整後四半期純利益率	8.1%	13.0%				

* 調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額
* 調整後四半期純利益＝税引前四半期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用

売上高・売上総利益率の四半期推移（売上高の領域別推移）

- 1Qの売上高は前年同期比＋920百万円（＋101.8%）と大きく伸長
- 売上高の領域別では、TGCプロデュース領域は、前年同期にはTGC地方開催がなかったが、当期は2都市で開催したことで673百万円増加し、コンテンツプロデュース・ブランディング領域は、広告制作案件の受注等により前年同期比252百万円増加
- 売上総利益率は比較的原価率の高い地方開催が2件あったこと、及び物価高の影響等によりやや低下



デジタル広告領域
アフィリエイト広告、TGC公式メディア運営等の領域

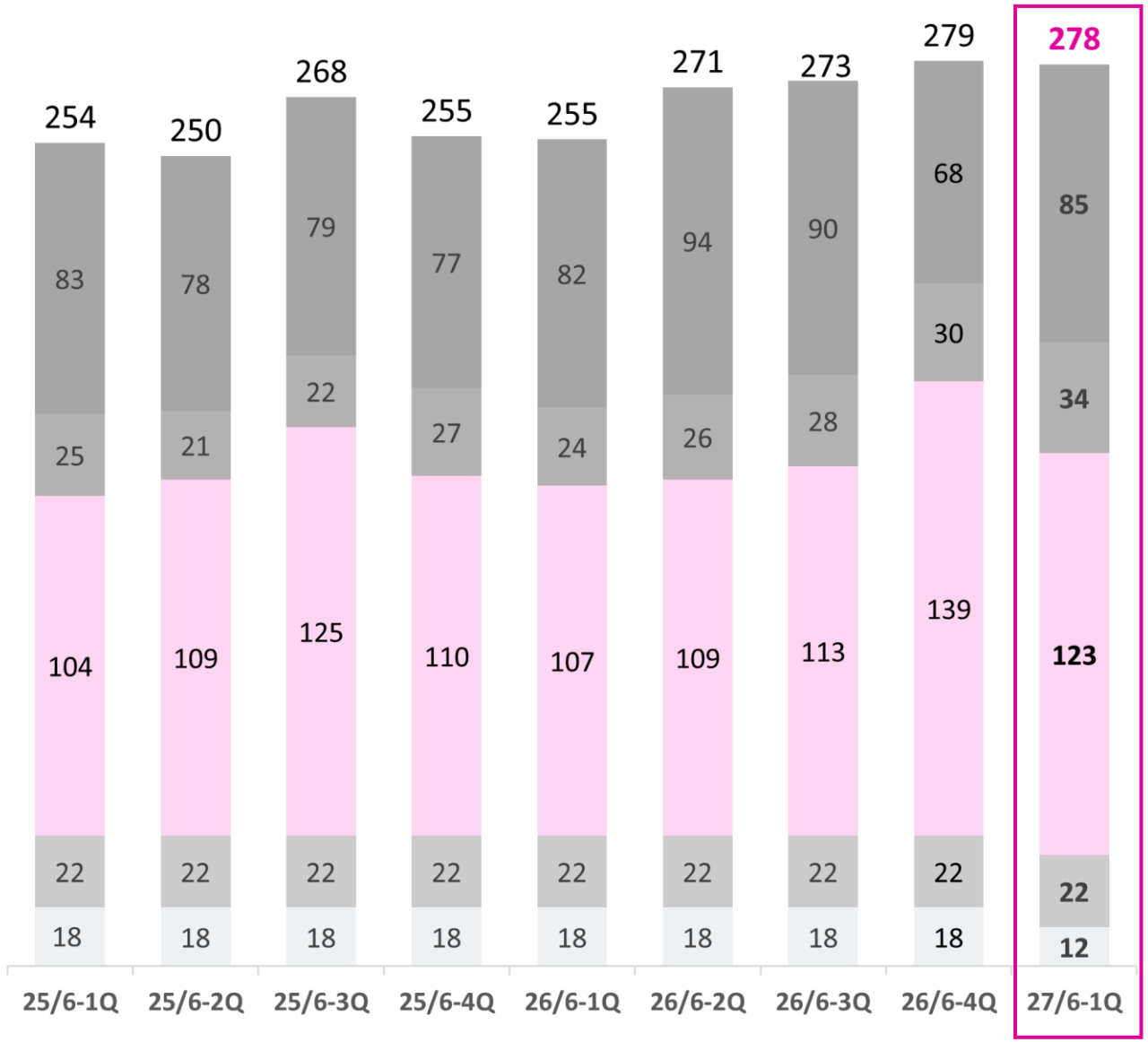
コンテンツプロデュース・ブランディング領域
TGCブランドを活かしたロイヤリティビジネスやプロデュースノウハウを活かした**新たな価値創造**領域

TGCプロデュース領域
TGC東京開催・TGC地方開催・TGC海外開催、シティプロモーション、その他プロモーション受託等、**発信力**を強みとする領域

（単位：百万円）

販売費及び一般管理費の四半期推移

■ 前期4Qとほぼ横ばいの水準で推移



（単位：百万円）

【販管費1Qトピックス】

- のれん償却の終了
  2026年8月で終了（当1Qで12百万円の償却費を計上）
- 人件費・業務委託費
  採用強化および案件拡大に伴う外部パートナー活用により高水準で推移
- 商標権償却
  2028年6月まで四半期22百万円で継続

貸借対照表の状況

- 9月開催の『マイナビ TGC 2026 A/W』、及びその他9月に受託した制作案件の影響等により、前期末との比較で売掛金及び契約資産が増加し、総資産が増加
- 2026年6月期決算に係る法人税等の納税・賞与支給、及び2026年9月から開始した自己株式取得等により現金預金は減少

（単位：百万円）	2026/6期 期末	2027/6期 1Q末	増減
流動資産合計	**2,732**	**3,223**	491
現金預金	2,044	1,487	▲ 557
売掛金及び契約資産	357	1,434	1,076
前渡金	248	177	▲ 71
固定資産合計	**370**	**355**	▲ 14
のれん（2026年8月償却終了）	12	0	▲ 12
商標権（2028年6月償却終了）	180	158	▲ 22
資産合計	**3,102**	**3,578**	476

	2026/6期 期末	2027/6期 1Q末	増減
流動負債合計	**915**	**1,241**	326
買掛金	102	621	518
前受金	532	328	▲ 203
固定負債合計	**360**	**332**	▲ 28
長期借入金	360	332	▲ 28
負債合計	**1,275**	**1,574**	298
純資産合計	**1,826**	**2,004**	178
負債・純資産合計	**3,102**	**3,578**	476
自己資本比率	58.9%	56.0%	

TGCプロデュース領域　#TGC東京開催

第43回 マイナビ 東京ガールズコレクション 2026 AUTUMN/WINTER

2026年9月19日 横浜アリーナで開催



■ 完売御礼
協賛枠・チケットともに完売

■ 総体感人数
のべ約 471万名（来場者+配信視聴者）

■ TV番組での特集
各局情報番組、バラエティ番組での特集

■ ブース施策
限定プリ・TGCコラボ商品の配布等、
豪華なブースを多数設置

■ 掲載メディア数
事前・事後で約計1万媒体のメディア
（TV・Web・新聞等）に露出

■ 協賛売上が増加
物価高の影響等で原価率はやや増加



TGCプロデュース領域　#TGC地方開催

NAMICS presents TGC 新潟 2026

2026年7月18日 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターで開催

- 新潟県初開催
- ナミックス株式会社がプラチナパートナー
- 総体感人数：のべ約 1,262,500名









SBI証券 presents TGC 松山 2026

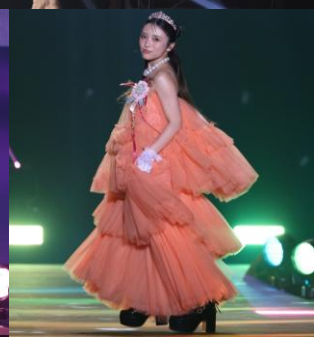
2026年8月16日 愛媛県武道館で開催

- 2024年に続き 2 回目の開催
- 株式会社SBI証券がプラチナパートナー
- 総体感人数：のべ約1,106,950名









TGCプロデュース領域　#その他プロデュース

GMO渋谷エンタメ祭2026 presents TOKYO GIRLS MUSIC Fes. 2026

2026年7月12日　LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）で開催

- 日本音楽事業者協会主催の『GMO渋谷エンタメ祭』との2回目のコラボ
- 多彩な豪華アーティストが出演



第4回 IDOL RUNWAY COLLECTION 2026 AUTUMN/WINTER Supported by TGC

2026年9月20日 横浜アリーナで開催

- IRC初の年2回開催
- 来場者数：のべ約10,100人





コンテンツプロデュース・ブランディング領域

TGC KIDS フェス 2026 supported by PROF

2026年7月28日 Zepp Hanedaで開催

■ 東京ガールズコレクションがプロデュースするα世代の新感覚KIDSフェス



TGC CAREER

■ エンタメ業界特化型キャリア支援サービスを2026年8月から提供開始

■ 一般的なキャリア支援では得られない業界ならではの知識や情報、ネットワークを提供



TGC teen 2026 Summer

2026年7月29日 Zepp Hanedaで開催

■ 次世代を担う“令和teen”が主役の新たなるガールズフェスタ



TGC STARS

■ ライブ配信を入口とした次世代スター発掘プロジェクト始動

■ モデル、タレント、俳優、アーティスト、クリエイターなど多様なフィールドで活躍する次世代スターの発掘・育成を目指す

TGC ★ STARS

2027年6月期 業績予想の概要と前提

（単位：百万円）	2026/6期 通期実績	2027/6期 通期業績予想	対前期	
売上高	4,375	**4,009**	▲ 366	▲8.4%
営業利益	398	**410**	11	3.0%
営業利益率	9.1%	10.2%		
経常利益	394	**407**	13	3.3%
経常利益率	9.0%	10.2%		
当期純利益	251	**268**	17	6.8%
当期純利益率	5.8%	6.7%		
（参考）				
調整後営業利益*	561	**573**	11	2.1%
調整後営業利益率	12.8%	14.3%		
調整後当期純利益*	387	**343**	▲ 44	▲11.5%
調整後当期純利益率	8.9%	8.6%		

* 調整後営業利益＝営業利益＋のれん償却額＋商標権償却額
* 調整後当期純利益＝税引前当期純利益＋のれん償却額＋商標権償却額－想定税金費用

■業績予想の主な前提

科目	内容
売上高	・TGC東京開催・TGC地方開催・シティプロモーションの開催確定分について、確定受注額又は受注見込に基づき積上げ ・2026年6月期は単発で大型広告制作案件の受注/納品があったが、2027年6月期に同規模案件は見込まない
売上原価	・TGC及びその他広告制作の原価率は上昇傾向にあるため、直近のコスト水準に基づき計算 ・低利益率案件の縮小、高利益率案件へのシフト
販売費及び一般管理費	・従業員の増加により人件費は継続的に増加 ・業務委託費その他諸経費等は26/6期と同水準見込み ・のれんの償却（償却費 6百万円/月）は2026年8月で終了

■取り組むべき課題

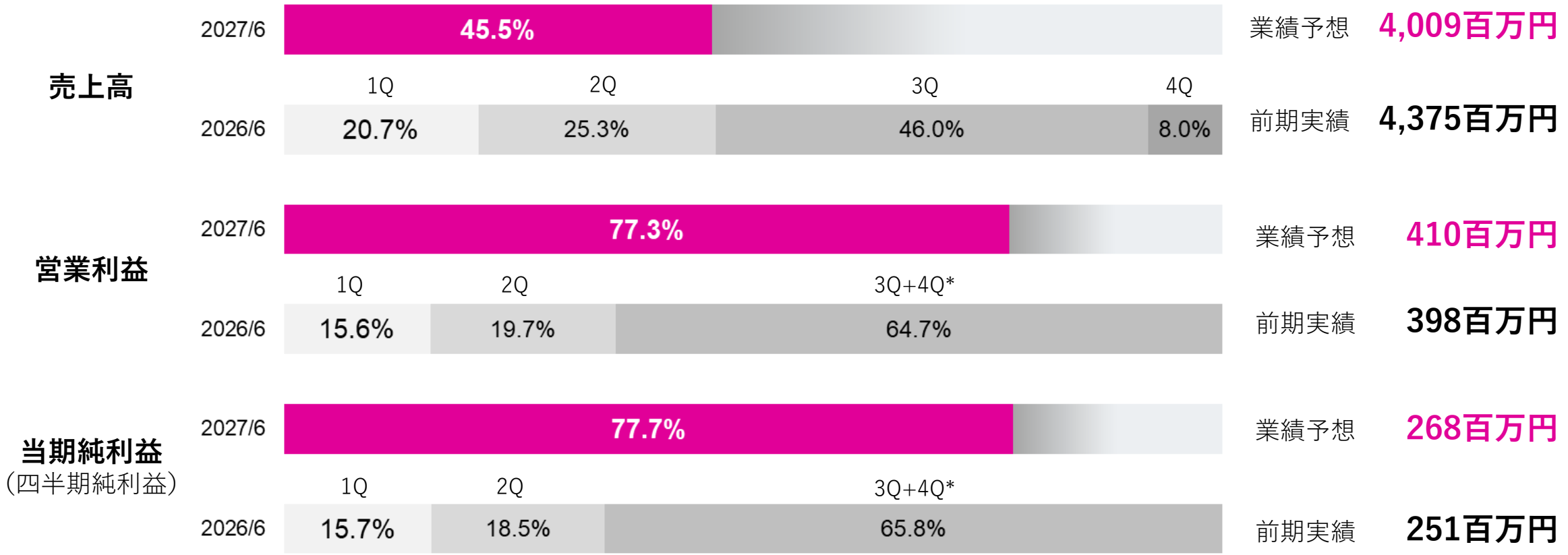
- ✓ 適切なリソース配分を実現するため、利益率を重視した選択と集中（高付加価値体質への転換を加速）
- ✓ 地方自治体との連携強化やニーズの適切な把握により、イベントの開催にとどまらない地方創生プロジェクトの拡大
- ✓ 単発の売上以外に継続的かつ持続可能な売上を生み出す収益モデルの開発及び営業機能の強化（戦略的な人的資本の投資を含む）
- ✓ 事業提携やM&Aを含む中長期的な成長戦略の実行

1Q	2Q	3Q	4Q
TGC東京開催	TGC 2026 A/W	TGC 北九州 2026	TGC 2027 S/S
TGC地方開催 **	TGC 新潟 2026	TGC 富山 2026	TGCしずおか2027
	TGC 松山 2026		

** 本決算発表までに公表している案件のみ掲載

2027年6月期業績予想に対する進捗状況

- TGC地方開催が上期に集中して予定されているため、1Qの売上高は前年同期比で上振れしているものの、通期ではほぼ計画通りに進捗する見込み
- 営業利益及び当期純利益は、商号変更に係る経費等が2Q以降に発生するため、進捗はやや鈍化する見込み
- 当期も前期同様、4Qは翌期に向けた種まきの時期と捉えているため、4Qは営業損失の見込み



＊ 2026年6月期の第4四半期会計期間（2026年4月～6月）は、営業損失・四半期純損失であったため、営業利益・当期純利益欄は3Qと4Qの合算値で示している。

商号変更

日本最大級の熱狂を、社会を動かす文化のインフラへ

当社は2027年1月1日に、
商号を「株式会社W TOKYO」から「**株式会社TGC IP Group**」へ変更いたします。

2005年に生まれたTOKYO GIRLS COLLECTION（TGC）は
今では世界的なブランドIP（知的財産）に成長し、TGCを中心とした独自の経済圏を確立しています。

今後の当社は、TGCが持つ求心力を核にして、
事業領域の拡大を行う**「IPプラットフォーム企業」**へと進化します。
ヒト・モノ・コト・地域など世の中に存在するさまざまなIPを結びつけることで、
「共創」により互いの価値を高め合い、持続的な事業成長と文化経済圏の創出を目指してまいります。

新商号

株式会社TGC IP Group

変更予定日　2027年１月１日

**TGCブランド価値の
一層の向上**

**世界の多様なIPを接続した
共創プラットフォームの構築**

**あらゆるIPの価値を
最大化するための成長支援**

自己株式の取得

■ 自己株式の取得

【目的】
株価及び財務状況等を総合的に勘案し、資本効率の向上を通じた株主利益の向上、
将来の機動的な資本政策の遂行を可能とすることを目的として自己株式の取得を2026年8月に決議

【概要】

(1) 取得する株式の種類	普通株式
(2) 取得する株式の数	**53,000株**（上限）※ ※発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 **2.03%**
(3) 株式の取得価額の総額	**100,000,000円**（上限）
(4) 取得期間	2026年９月１日から2026年11月30日まで（実際には10月22日に終了）
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付

■ 進捗状況

2026年9月及び10月累計で新規に52,400株を99,953千円で取得し終了

	取得株数（株）	取得価額（千円）
2026年6月末現在	147,940	
2026年9月取得	15,500	30,419
2026年10月取得	36,900	69,534
2026年10月末現在	**200,340**	

配当の開始

■ 株主還元方針の策定

- 中長期的な企業価値の向上と株主還元の充実を目的として、継続的かつ安定的な配当を基本とする株主還元方針を採用することを決定
- 配当性向20％以上を目安として、持続的な利益成長に応じた株主還元の充実を目指す

■ 中間配当（初配）実施の決定

基準日	2026年12月31日
1株当たり配当金	**20円00銭** （内訳）普通配当　13円00銭 商号変更の記念配当　7円00銭
配当金総額	51百万円
配当原資	利益剰余金

■ 期末配当予想

- 1株当たり期末配当金：13円00銭（2027年9月に開催する定時株主総会に付議予定）
- これにより2027年6月期の年間配当金は33円00銭となる見込み

免責事項

- 本資料は、当社の事業や業績に関する情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、当社の株式その他の有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には、当社の見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって作成しています。
- 将来予想に関する記述は、経済情勢や景気動向、その他の様々なリスクや不確定要素の影響を受け、結果として、将来の実際の経営成績等が本資料に記載された内容と異なる可能性があることにご留意ください。

W TOKYO

IR公式アカウント開設しました
https://x.com/WTOKYO_IR_9159